

### 南会津小中学校音楽祭で

## 只見中学校が金賞で県大会へ！

8月23日、第71回南会津小中学校音楽祭(第1部合唱)が南会津町の御蔵入交流館で行われ、郡内の中学校5校が参加し、只見中学校が見事「金賞」に輝き県大会の出場を決めました。

県大会は8月31日に喜多方市の喜多方プラザで行われ、県内から32校の中学校が出場し、南会津代表として只見中学生が洗練された素晴らしい歌声を披露しました。県大会でも練習を重ねてきた成果を発揮し、「銅賞」を受賞しました。



▲澄んだ歌声を披露する生徒たち

### 塩ノ岐の目黒ミヤギさん

## 満百歳で知事賀寿を贈呈

塩ノ岐地区の目黒ミヤギさんが9月8日で満百歳の誕生日を迎え、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。

贈呈式では、小谷尚克県南会津保健福祉事務所長が知事賀寿と記念品を手渡し、菅家町長など出席者からお祝い金などが贈られました。謝辞では長男の良平さんが「母は畑仕事が大好きで、他にもゲートボールや日記を長年続けています」と長寿の秘訣を話されました。ミヤギさんは子ども4人、孫9人、ひ孫13人に恵まれ、ひ孫から「長生きしてね」と贈られた似顔絵を笑顔で受け取っていました。



▲賀寿状を手にするミヤギさんとご家族の皆さん

### 只見線の全線復旧に向けて応援

## 只見線愛好会が「30万円」寄附

9月20日、J R只見線愛好会4名の方が役場を訪れ、全線復旧が決まったJ R只見線の応援として集めた30万円を町に寄附されました。

これは、町民で組織するJ R只見線愛好会がJ R只見線を応援する名目で会員160名から寄附を募ったもので、当日は只見線愛好会の目黒彰一会長から菅家町長へ寄附金が手渡されました。目黒会長は「町が上下分離方式のために積み立てている基金に活用していただきたい」と話され、菅家町長は「復旧に向けて活用させていただきます」と話しました。



▲菅家町長(右)へ寄附金を手渡す只見線愛好会の皆さん

### ジャズで音楽振興を図る

## 只見町民が魚沼市で演奏披露

9月3日、新潟県魚沼市で「サマー・ジャズフェスティバル@魚沼」が開かれ、只見町民が参加しました。これは、6月に町内で演奏・指導されたB Fジャズスクールのご厚意でイベントに招待されたものです。参加者は、今年から教育委員会主催で始まった小中高生によるジャズスクールのメンバーと指導者である只見音楽研究会メンバーがチームを結成し、本番に向けて8月からプロの指導を受けてきました。本番では、プロのミュージシャンや魚沼市の小出高校吹奏楽部と共演し、参加者は貴重な経験を積むことができました。



▲ジャズフェスティバルのステージで演奏するメンバーの皆さん

**町全体で歯の健康を守る  
むし歯予防のスローガン決定!**

町内の小中学生の健康について協議する「学校保健委員会」が7月14日に只見中学校で開かれ、学校・診療所医師・行政などの関係者22名が出席しました。

委員会では、学校医の若山先生による「肥満予防」の講演が行われました。また小中学生の健康課題である「肥満」については学校医や栄養士による面談、「歯」については歯科衛生士による歯科教室など各学校での取組が紹介され、学校・家庭・地域の連携の必要性を共有しました。最後に歯のスローガンを決定し、町全体で健康意識向上を目指すことを確認しました。



**「家族で行こう 定期検診」  
～白い歯と自然を守る 只見町～**

**さんさんキッズプロジェクト  
「運動あそび講座」を開催**

9月23日、子どもたちの健やかな発育と発達を支援する町の事業さんさんキッズプロジェクトの「運動あそび講座」が季の郷湯ら里で開かれ、保育所園児や保護者、教育関係者など約70名が参加しました。

講座の第1部では、山梨大学教育学部長の中村和彦教授を迎え、子どもたちの現状や「運動あそび」の重要性などが説明されました。第2部では湯ら里の前庭で実際に子どもたちや大人と一緒に「運動あそび」を体験し、参加した保護者からは「子どもとの正しい遊び方がわかった」という声が聞かれました。



▲運動遊びの重要性を伝える中村教授

**長年の功績と長寿を祝って!  
3地区で敬老会を開催**

9月、長年にわたり社会につくされた満75歳以上の方々の長寿と健康を祝う3地区それぞれの「敬老会」が季の郷湯ら里を会場に行われ、各地区総勢約600名が参加しました。

敬老会の最初を飾った朝日地区敬老会は9日に行われ、3地区の中で一番多い222名が参加しました。菅家町長は「皆さまが安心して生涯現役で活躍できるよう支援して参ります」と挨拶し、朝日地区老人クラブ連絡協議会の小沼武夫会長が謝辞を述べ、町民生児童委員協議会の渡部新喜副会長の乾杯で祝宴が始まりました。



▲(写真/朝日地区)かわいい踊りでお祝した朝日保育所さくら組の皆さん

**将来の目標に向かって  
只見高校生が短期海外留学**

町と只見高校の連携事業「短期海外留学制度」を活用し、只見高校2年の酒井康志さんと武藤姫子さん(山村留學生)が夏休み期間の約2週間、カナダのバンクーバーへ短期留学しました。留学を終えた酒井さんは「今回の経験でリスニング能力が身に付き、カナダに友人ができました。将来は英語の教員になって今回の経験を伝えたい」と話し、武藤さんは「異文化交流により視野が広がり、コミュニケーションの大切さを学びました。今後も英語を頑張っていきたい」と話しました。お二人の今後の活躍に期待です。



▲役場で行われた報告式で英語により抱負を語る酒井さん(右)と武藤さん(左)

## 改良促進を福島県へ要望

8月29日、県道小林・館の川線改良促進期成同盟会は福島県庁を訪れ、同県道の改良促進についての要望活動を行いました。

要望活動では、8月10日の総会で決定した「未改良区間である小林〜亀岡間の早期整備」、「熊倉〜荒島間の冬期交通の確保」、「荒島〜小川間の冬期安全対策」が盛り込まれた要望書を会長の菅家町長から鈴木副知事に手渡されました。

要望に対し県は、荒島〜小川間の整備を進め、順次他区間の調査などを検討するとし、財源確保についても国に要望していくと話されました。



▲要望書を鈴木副知事に手渡した県道小林・館の川線改良促進期成同盟会の皆さん

## 横山英彦さんが永年勤続表彰受賞

9月1日、県選挙管理委員会連合会永年勤続表彰の表彰状伝達式が役場で行われ、平成28年12月25日で退任された前只見町選挙管理委員長の横山英彦さんに表彰状が伝達されました。

横山さんは、平成23年3月から5年10ヶ月にわたり選挙管理委員長および選挙管理委員を務められました。

伝達式では、渡部英弥選挙管理委員長から横山さんに表彰状が手渡され、長年にわたり公平公正な選挙執行と町の選挙推進に大きく貢献された横山さんの功績が称えられました。



▲表彰状を手にする横山さん(中)と伝達した渡部英弥委員長(中左)、委員の伊豆さん(中右)、舟木さん(左)、渡部等さん(右)

## ふるさとを学んだ交流学習

8月30〜31日、朝日小学校6年生9名が宮城県仙台市立八本松小学校を訪れ、交流学習を行いました。この学習は只見愛を育む教育(E・S・D)の一環で行われており、みずほ教育福祉財団の助成金を活用して実施されました。

八本松小との交流学習では、互いのふるさとを紹介を行い、児童たちは仙台市とふるさと只見を比較しながら、良い点を再確認していました。また、仙台市内の水族館見学や町の魅力を紹介したりリーフレットを仙台駅前で配りました。児童たちは仙台の魅力を感じ、町の魅力を多くの方に発信しました。



▲八本松小学校児童の前でふるさとを紹介する朝日小学校6年生の皆さん

## 継之助ウォークで所縁の地巡る

9月24日、河井継之助と長岡藩主一行が只見町で歩んだ歴史をガイドと一緒に散策しながら学ぶ「継之助ウォーク」が町内で開かれ、町民や新潟県長岡市など約60名が参加しました。これは、河井継之助記念館やボランティアガイドなどで組織する継之助ウォーク実行委員会の主催で、来年戊辰終結150周年を迎える記念事業として長岡市との交流で行われたものです。散策では丹羽族切腹の地、長岡藩主牧野公や河井継之助の宿泊地、沼田原の戦いの地、叶津番所・河井継之助記念館などを巡り歴史と交流を深めました。



▲(写真/叶津番所で説明を受ける参加者)歴史クイズを出題しながら楽しく散策した皆さん

町の教育振興基本計画を考える  
第2回「検討委員会」を開催

9月6日、第2回只見町教育振興基本計画検討委員会が開催され、今回は学校教育と生涯学習の分野に分かれ意見を深めました。

学校教育の班では、「将来を担う子どもたちの教育の充実」について原案を基に協議しました。また、生涯学習分野は「家庭教育力・地域教育力の向上」、「生涯スポーツ・レクリエーションの推進」のテーマと「魅力ある生涯学習の推進」、「地域文化の振興」をテーマとする班に分かれて進められ、それぞれ活発な意見交換が行われました。今後10月下旬に第3回委員会を開催し、その後「町教育振興基本計画」がまとめられる予定です。



▲各グループに分かれ活発な意見交換を行う教育関係者の皆さん

人材育成第8期生  
喜多方市で「町外視察研修」

9月25日、人材育成第8期生の講座「蔵のまち巡り・町外視察研修」が喜多方市で行われ、8期生6名が参加しました。この研修は、8期生のテーマ「郷土料理」を学ぶため蔵のまちで有名な喜多方市を訪れ、古民家を活用したお店を視察したものです。

研修では旧山都町宮古の「大下」、「そば処・古川端」と、市内にある「大和川北方風土館」、「つきとおひさま」を視察し、地産地消にこだわる料理手法や古民家の活用方法などを学びました。8期生は今回の視察を参考に、ふるさとの郷土料理を考えていきます。



▲大下の経営者・関口さんから農家そば屋について聞く8期生の皆さん

表現力や創造力を深める  
平成29年度「家庭劇場」開催

9月12日、教育委員会が主催する「家庭劇場」が朝日小学校体育館で行われ、町内の保育所園児や小学校児童など約250名が鑑賞しました。

今年も、劇団創立70年を迎え全国で活躍されている「劇団たんぼぼ」の方々が公演しました。演目は「赤ガラス大明神」というお話で、嫌われ者の赤ガラスが里の娘の願いや村の人たちを助けるために奮闘する物語を披露しました。舞台の世界観に魅了された子どもたちからは大きな拍手が贈られ、演劇による表現力や創造力などを深めることができました。



▲町内の子どもたちに素晴らしい演劇を披露した劇団たんぼぼの皆さん

要書山・浅草岳にチャレンジ  
只見小全児童が「ふるさと登山」

9月9日、只見ユネスコエコパークの山々を登る只見小学校の「ふるさと登山」が行われ、只見小全校児童が参加しました。

この登山は、児童の体力向上と地域の魅力を再発見するために行われているもので、今年も1、4年生が要書山、5、6年生が浅草岳に挑戦しました。

児童たちは、急な登山道にも負けず全員が登りきり、山頂からの絶景や自然を楽しみました。

また、浅草岳山頂では海洋教育で訪れた新潟県寺泊の位置などを確認し、児童たちは山の水が海に流れる水の循環などを学んでいました。



▲浅草岳に挑戦した只見小6年生の皆さん